



評価のポイント

CL-新人.専門性の開発能力

〔57-新人〕論理的思考：クリティカルシンキングの基本

以下の事例についてクリティカルシンキングをしてみましょう。

70歳代の糖尿病性網膜症で入院初日の男性患者（高血症、糖尿病、高脂血症）が、肩こり、肩甲骨間周辺などの急な凝りと広がるような痛みを感じるので、担当看護師に患者自身が持参してきた冷湿布を貼って欲しいと少々辛そうに言ってきた。肩凝りや腰痛時にいつもその冷湿布を貼っているという。そのことは外来で医師に伝えたという。担当看護師は、凝りと痛みを緩和するためにはいつもそうしているという持参した冷湿布が効果的なのだろうと考えている。

あなたはこの事例についてどのようなクリティカルシンキングをしますか？

70歳男性、高血圧症、糖尿病、高脂血症（虚血性心疾患の危険有因子の患者）が急な肩こりと肩甲骨間の痛みなどを訴えて、冷湿布を求めてきたことに対して、どのようなクリティカルシンキングを働かせるかという課題である。看護職としての基本的医学的知識を基盤とした、患者の要求にどう応えるか、つまり、どう対応すべきかを考察し、判断、行動するべきかの臨床推論の根拠となる批判的吟味を様々な視点から考察できることが期待される。